



クリーンセンターふたばにおける 事業の進捗状況等について

2023年 8 月

環境省福島地方環境事務所

工事概要

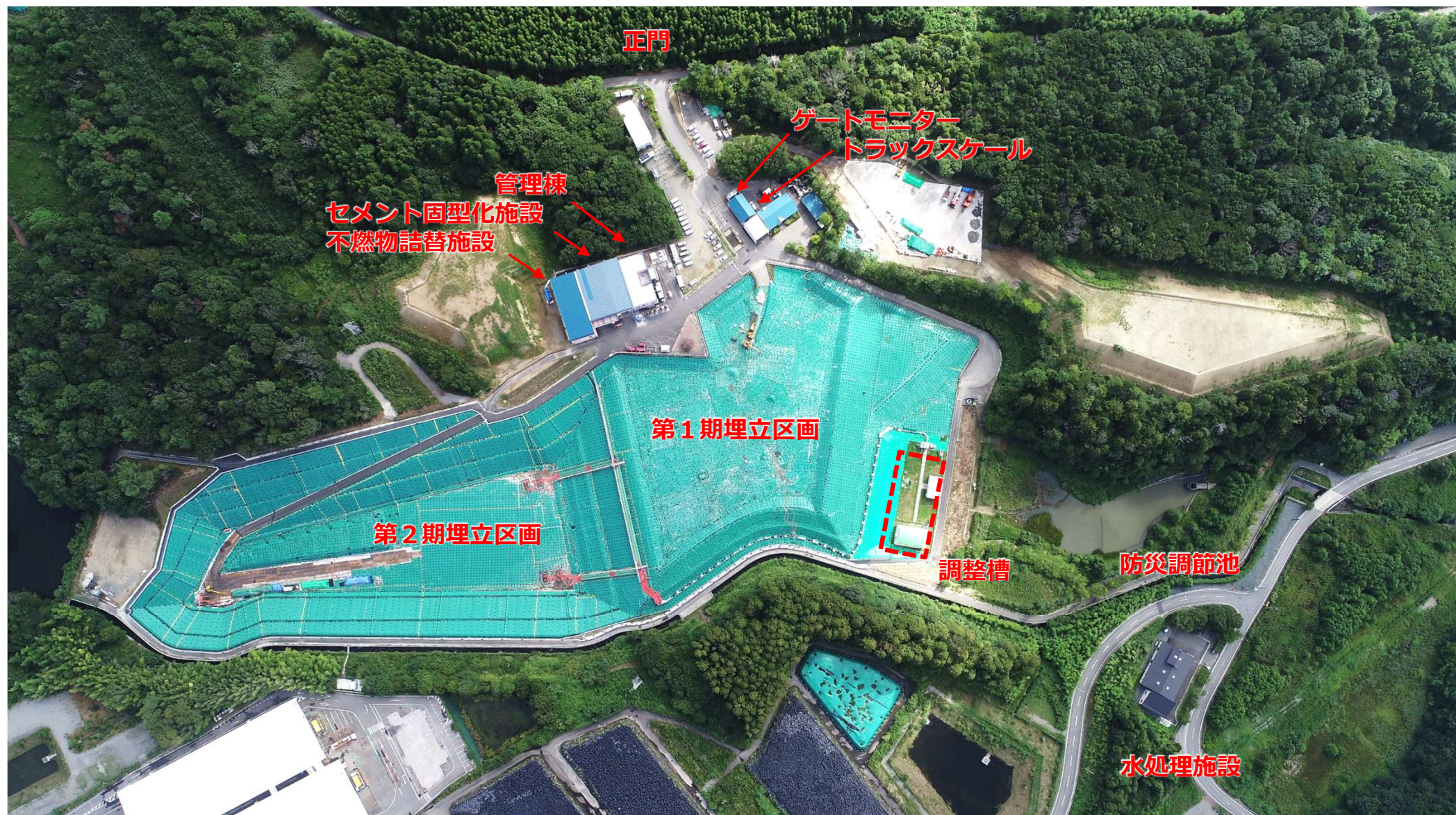
工 事 名	令和4年度から令和5年度までのクリーンセンターふたば埋立処分等工事
場 所	福島県双葉郡大熊町小入野地内
埋立地面積	約4.5ha
埋 立 容 量	約50万m ³ （土堰堤含む）
埋立開始日	令和5年6月1日
工 事 期 間	令和4年9月29日～令和6年3月31日



施設全体図

令和5年度工程

- 令和5年6月1日より特定廃棄物の受入れを開始した。
- 令和5年度は、大熊町・浪江町・葛尾村に保管中の焼却残さ、大熊町・双葉町・浪江町・富岡町に保管中の不燃物の搬入を予定しており、現地からの搬出時期については各町村と個別に協議していく。



令和5年8月10日撮影時点

令和5年8月にかけて不燃物詰替施設、セメント固型化施設を整備しました。



左手側から不燃物詰替施設、セメント固型化施設、管理棟



不燃物詰替設備①



不燃物詰替設備②



セメント固型化設備

輸送時の安全対策

- 搬出前に廃棄物へ管理タグを取り付けるとともに、輸送車両にはGPS機器を搭載し、クリーンセンターふたば内に設ける運行管理室にて監視する。
- 緊急時（事故や廃棄物が飛散した場合）は、事前に決定した緊急連絡体制に基づき、直ちに各関係者へ状況を連絡し、復旧作業を行う。
- 輸送車両には、法令に基づき、特定廃棄物輸送車両である旨を表示する。



運行管理室の様子

搬出場所（仮設処理施設・仮置場）

区分	仮設処理施設・仮置場名
大熊町	6月～仮設焼却施設（灰保管施設） 7月～スポーツセンター
浪江町	7月～仮設焼却施設（灰保管施設）



運搬車両用ダンプマスク

大熊町からの運搬ルート



浪江町からの運搬ルート



出典：地理院地図

ゲートモニタで 線量確認



搬入廃棄物が10万Bq/kg以下であることを確認

受入時確認



収納容器の状況を確認

荷下ろし



埋立地内へ荷下ろし

設置



フレコンを埋立地内へ設置

退出確認



退出時の確認

退出時荷台確認



荷台が空であることを確認

運搬車両 スクリーニング



表面汚染密度を測定して
汚染がないことを確認

退場



安全を確認して退場

埋立処分施設受入状況（令和5年7月末現在）

8

運搬量（単位：トン）

区 分	令和5年度 運搬量(t)			令和5年6月～ 累計(t)
	6月	7月	計	
焼却残渣	1,146	1,086	2,232	2,232
不燃物	—	—	—	—
合計	1,146	1,086	2,232	2,232

※小数点以下を四捨五入して表記しているため、合計が合わない場合があります。

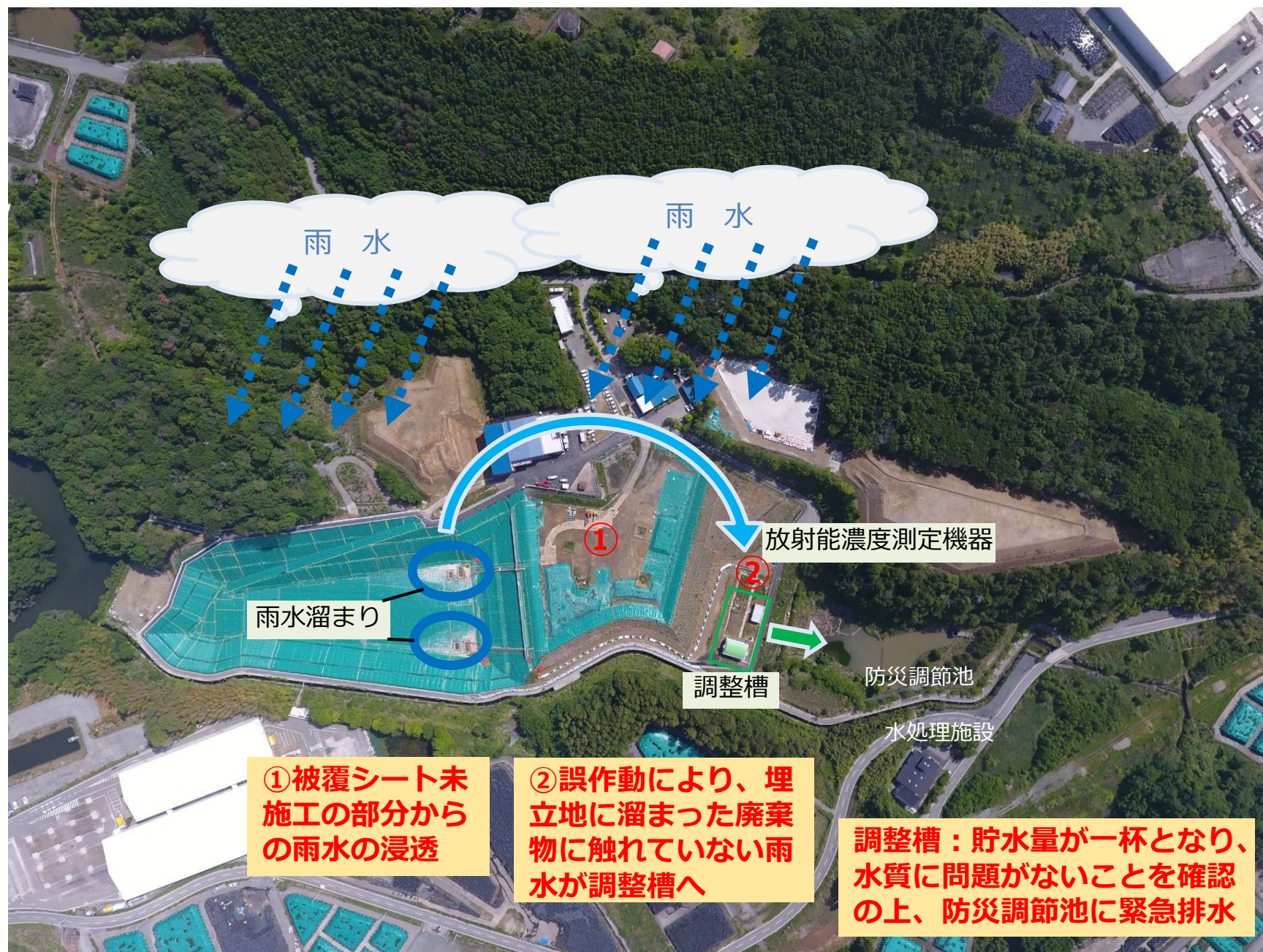
施設埋立量（単位：袋）

区分	第1期埋立区画	第2期埋立区画	合計
埋立量（袋）	—	1,680	1,680

令和5年6月21日（水）から22日（木）にかけて、水質基準値を超える項目がないことを確認した上で、施設内の雨水等を防災調節池を通じて場外へ緊急排水しました。

1. 経緯及び発生原因

- 6月上中旬の連日の降雨により、施設内で多量の雨水が発生
- 第1期埋立区画において、雨水を排除する被覆シートが一部未施工であったため、雨水が埋立地内に浸透
- さらに、埋立地に溜まった雨水を排水する際に作動する放射能濃度測定機器に不具合が生じ、本来ならば直接場外に排水できる雨水が水処理施設の調整槽に流入
- その結果、6月9日（金）に水処理施設の調整槽（容量：4,100m³）の貯水量が約75%、6月15日（木）に約95%に到達
- 6月19日（月）に調整槽内の水質を分析した結果、測定した全ての項目について放流水の管理基準を満たしていることを確認
- 水処理施設の運転時間を延ばすも調整槽内の水位が下がらず、更なる降雨の予報が出ていたことから、非常時の措置として6月21日（水）から22日（木）にかけて、施設内の雨水等(※)を直接場外へ緊急排水
 - ※ { 東日本大震災以前までに埋め立てられていた生活ごみなどに浸透した雨水
施設に降った雨水を集水したもの
- 6月26日（月）以降、大熊町、双葉地方広域市町村圏組合、福島県及び地元行政区に報告



クリーンセンターふたば 施設配置図（写真撮影年月日：令和5年5月25日）

- 緊急排水前の6月19日（月）に行った調整槽内の水質分析の結果、放射性物質濃度を含め、測定した全ての項目について放流水の管理基準を満たしていることを確認

表 調整槽内水質分析結果

採水日：2023年6月19日			検体（浸出水）		判定
測定項目		管理値（基準値）	第1調整槽	第2調整槽	
1	水素イオン濃度（pH）	5.8 以上 8.6 以下	7.98	7.99	○
2	生物化学的酸素要求量（BOD）	20mg/L 以下	5 mg/L	5 mg/L	○
3	化学的酸素要求量（COD）	20mg/L 以下	5 mg/L	5 mg/L	○
4	濁度（NTU）	33.8NTU 以下	3.8 NTU	2.4 NTU	○
5	窒素含有量	60mg/L 以下	2 mg/L	2 mg/L	○
6	ふっ素	8mg/L 以下	0.8 mg/L	1.5 mg/L	○
7	ほう素	10mg/L 以下	1 mg/L	0.5 mg/L	○
8	事故由来放射性物質（セシウム）濃度	10Bq/L 以下	—	—	○
	Cs-134 【検出下限（4.67Bq/L以下）】		ND	ND	
	Cs-137 【検出下限（4.23Bq/L以下）】		ND	ND	

※NDは検出下限値未満であることを示す

- 緊急排水後の6月25日（日）に防災調節池放流水及び下流の河川水を採水・分析した結果においても、環境基準を超過する項目は確認されなかった。
- また、今回の採水地点は通常の定期モニタリング地点と同一であるため、既往の調査結果と比較したところ、平時からの著しい上昇などは見られず、緊急排水による周辺水域への影響は確認されなかった。

【防災調整池における緊急調査結果】

項目名	単位	試料名	
		2023/6/25	2023/6/25
		防災調節池放出水（B-1）	防災調節池放出水（下流）
一般項目・有害物質等		全ての項目で基準値を満足	
セシウム134 ろ過前（検出下限）	(Bq/L)	0.7未満（0.7）	0.7未満（0.7）
セシウム134 ろ過後（検出下限）	(Bq/L)	0.7未満（0.7）	0.6未満（0.6）
セシウム137 ろ過前（検出下限）	(Bq/L)	1.0（0.8）	0.8未満（0.8）
セシウム137 ろ過後（検出下限）	(Bq/L)	0.9（0.8）	0.7未満（0.7）

【河川水における緊急調査結果】

項目名	単位	試料名	
		2023/6/25	2023/6/25
		河川水（R-4）	河川水（R-6）
一般項目・有害物質等		全ての項目で基準値を満足	
セシウム134 ろ過前（検出下限）	(Bq/L)	0.7未満（0.7）	0.7未満（0.7）
セシウム134 ろ過後（検出下限）	(Bq/L)	0.8未満（0.8）	0.7未満（0.7）
セシウム137 ろ過前（検出下限）	(Bq/L)	0.8未満（0.8）	0.8未満（0.8）
セシウム137 ろ過後（検出下限）	(Bq/L)	0.7未満（0.7）	0.8未満（0.8）

2. 再発防止策

○ 施設・設備等ハード面での対策

(実施済み)

- ・ 未施工箇所における雨水排除のための被覆シートによる被覆
- ・ 水処理施設の運転時間を週 5 日稼働から週 7 日稼働に拡大し、最大限の処理量を確保
- ・ 直接場外に排水できる雨水が調整槽に流入することがないように、雨水を手動で分析し、放射能濃度に問題がないことを確認の上、放流

(実施中・実施予定)

- ・ 直接場外に排水できる雨水が調整槽に流入することがないように、雨水の安全性を確認する放射能濃度測定機器のプログラム改修を検討
- ・ 雨水等の発生量が増えた際に、これを貯留するための追加水槽（600m³相当分）の設置

○ ソフト面での対策

(実施済み)

- ・ 現場における異常を早期に発見できるよう、監督体制の強化（監督員の増員、現場配備）
- ・ 異常が発見された際等に、関係者に対し速やかに連絡を行うよう、所内での認識共有の徹底

(実施中・実施予定)

- ・ 異常時の対応方策について、運営マニュアルにおいて豪雨等の災害対応の規定を一層明確化

- クリーンセンターふたばにおける埋立処分事業の概要や各種モニタリング結果については、環境省HPで順次公開中。

http://shiteihaiki.env.go.jp/tokuteihaiki_umetate_fukushima/cleancenter_futaba/

環境省
特定廃棄物の埋立処分事業情報サイト

検索する語句を入力ください。 検索 文字サイズ: 小 中 大 お問合せ窓口

トップページ > クリーンセンターふたば

クリーンセンターふたば

ページ内インデックス

- 事業の進捗状況

はじめに

管理型処分場「クリーンセンターふたば」は、東日本大震災前まで、双葉地方広域市町村圏組合が産業廃棄物及び双葉郡の一般廃棄物の埋立てを行っていましたが、2011年以降、東日本大震災の影響により休止していました。双葉郡の生活ごみは、特定廃棄物埋立処分施設（旧フクシマエコテッククリーンセンター）での2017年11月の埋立開始から約10年間の予定で埋立処分されています。しかし、将来的な生活ごみの処分先の確保が課題となっていました。加えて、双葉郡の復興に向けたインフラ整備事業に伴う廃棄物の処分先の確保が新たな課題でした。環境省は、双葉郡の復興を加速化するため、10万Bq/kg以下のこれらの廃棄物の最終処分場として、クリーンセンターふたばを活用することとしました。環境省は、クリーンセンターふたばへの搬入開始に向けて復旧・整備等の工事を行いました。廃棄物の埋立事業の実施においては、周辺環境への配慮、多重の安全管理、迅速な情報公開等に積極的に取り組んでいきます。



埋立対象廃棄物

埋立対象廃棄物

クリーンセンターふたば

双葉郡内のインフラ整備等の事業廃棄物及び生活ごみ

環境省
特定廃棄物の埋立処分事業情報サイト

検索する語句を入力ください。 検索 文字サイズ: 小 中 大 お問合せ窓口

トップページ > クリーンセンターふたば > クリーンセンターふたばの環境モニタリング

クリーンセンターふたばの環境モニタリング

ページ内インデックス

- 環境モニタリング
- モニタリングデータ

環境モニタリング

環境モニタリングの実施位置

処分施設内のモニタリング



- ★ 空間線量率(定期モニタリング) 6地点
- ★ 空間線量率(モニタリングポスト) 5地点
- 地下水水質(定期採水).....2地点
- 地下水水質(連続測定).....1地点
- 浸出水水質.....1地点
- 放流水水質.....1地点
- 防炎調節池水質.....1地点
- 悪臭.....2地点
- 騒音振動.....1地点
- ◆ 大気中放射能濃度.....3地点
- ◆ 大気中放射能濃度(連続測定).....2地点
- ◆ 粉じん(風下側いずれか1地点で実施) 2地点

埋立範囲 敷地範囲

1期埋立区画 2期埋立区画

よくあるご質問

<除去土壌等>

土壌

廃棄物

例) 落ち葉、枝等

可能な限り
減容化

中間貯蔵施設

可能な限り減容・再生利用
を行った上で最終処分へ

<廃棄物>

特定廃棄物

対策地域内廃棄物

例) 災害廃棄物、家の片付けごみ

指定廃棄物

(8,000Bq/kg超)

例) 汚泥、稲わら、堆肥等

可燃物: 可能な限り減容化(焼却等)

不燃物: 再生利用できるものは再生利用へ

廃棄物の放射能濃度

10万Bq/kg超

10万Bq/kg以下

発生区域・発生時期

特定廃棄物埋立処分施設
(旧フクシマエコテッククリーンセンター)

- ・双葉郡の生活ごみ(～R9.11)
- ・対策地域内廃棄物等
- ・福島県内の指定廃棄物

クリーンセンターふたば

- ・双葉郡の生活ごみ(R9.12～)
- ・双葉郡内のインフラ整備等の産業廃棄物等
- ・特定復興再生拠点区域の建物解体等から生じる特定廃棄物